

『世田谷区議会議員・田中優子レポート』 NO.4

“人と環境に優しいまち”をめざす田中優子の活動報告

2003年8月 編集・発行 世田谷市民クラブ 代表：田中優子
156-0043 世田谷区松原 4-34-20-309 Tel & Fax 03-3322-8131

「せたがや政策会議」発信で、区政が大きく変わる！

退職する日に退職者全員が２段階の昇給？！平成１４年度は５０００万円以上が支給された ～ “名誉昇給”の見直しを区長が明言！！～

世田谷区議会第２回定例会において、代表質問＆一般質問が６月１１日～１３日まで行なわれました。「せたがや政策会議」は代表質問で「名誉昇給」について見直しを図るよう言及し、熊本新区長から「見直しの時期である」との答弁を得ることができました。この件は、「朝日」「毎日」「読売」「産経」「東京」の新聞各社で取り上げられ、東京都や２３区全体の制度見直しの動きへ！と影響を及ぼしています。（今回の代表質問は「せたがや政策会議」の会派幹事長である上島よしもり議員が担当しました）

（朝日新聞 2003年6月13日（金）の記事より抜粋）

辞める日に「名誉昇給」、今春は５千万円分

『退職金の増額、見直しへ』 世田谷区、区部で初、民間や区財政の現状受け

同区の名誉昇給は、職員給与条例に基づき、公務災害による退職者や定年、勸奨退職者らが勤続年数などに応じて２段階か１段階昇給する制度。今年、３月３１日付けで定年・勸奨退職した１３１人の全職員が同日付で２段階昇給し、退職金が一人平均約３９万円、最高約１６５万円増額された。全員の退職金の増額分の総額は５０８８万円。増額する場合の「功績顕著な者が定年及び定年に準ずる理由で退職する場合」「勸奨に応じ功績顕著な者が退職する場合」といった基準は、特別人事委員会の承認を得ており、現在は２３区共通の基準になっている。同区は今春、全職員へ、一律に適用した。以前から、よほどの理由がない限り、全職員が自動的に昇給の恩恵を受けたという。

代表質問で、上島よしもり議員（３４）＝せたがや政策会議＝が「昇給は在任中に運用してこそ。（退職日に昇給しても）行政サービスも区役所もよくなる」と追求。熊本区長は「名誉昇給は戦後間もなく制度化され、２３区も（地方自治法の改正で都職員から区職員に身分が切り替わった７５年以降も）都からの制度を引き継いで運用してきた。民間企業の厳しい状況や区財政を踏まえると見直しの時期」と明言。区人事課は「これまでは職員の区政への貢献に報いるため、ほぼ一律に昇給させて退職金を増額してきたが、各人の貢献度や成績などを厳格に評価することなどを含め、運用の見直しを検討したい」としている。

名誉昇給については、その後も、東京都における状況（職員の名誉昇給、５年間で２７億円に上る！）や、世田谷区が見直しを明言したことによる２３区への波及効果（２３区中２０区で見直しを検討）等々、新聞報道が続き、この問題を提起した「せたがや政策会議」の質問の成果の大きさが語

られています。「昇給のすべてが悪い」ということでは決してありません。「全員が自動的に（功績顕著でもそうでなくても）一律に、しかも2段階、退職する日に昇給する」という制度のあり方がおかしい、と指摘したものです。今後もこのように、区民感覚としておかしい、と思うことは正していく、新たな提案をしてく、という会派の活動をしていきたいと思いをします。

世田谷区議会第2回定例会

「田中優子の一般質問」の報告（2003年6月12日）

（区議会の生中継と録画放映はこちら <http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/chukei/chukei.htm>）

「外郭環状道路は、十分な情報をもって慎重に議論せよ」

高架案で凍結状態にある「東京外環道」ですが、最近になって大深度地下方式という新たな案が出され、議論が始まっています。これは、関越道から東名高速までをつなぐ16kmの計画ですが、現在、練馬区と杉並区において意見の相違があり、先行きがわからない状況にあります。道路はつながってこそ意味があるものです。例えば世田谷区の部分（中央道と東名高速を結ぶ部分）だけを見切り発車で推進する、ということのないよう、道路の一体性、ということをしかりと認識し、議論せよ、ということをし、一般質問でとりあげました。

これに対して「外環道は練馬から東名までを一体的に整備するという認識で取り組んでいきたい」という区の答弁が得られました。

（今回は、大型パネルを使って議会質問を行ないましたが、“わかりやすかった”と好評でした）

「保育の第三者評価制度をいかせ」

私は本年の予算委員会で、既にある「苦情処理」、今後進める「第三者評価」、そして従来からやっている「指導・監査」の三点セットがそろって、初めてサービスの質が向上すると考え、保健福祉サービス分野における「評価のための専門組織を作ったかどうか」と提案しました。

そして、今年度から「第三者評価」が導入されることになりましたが、保育においては、「認可保育園以外の保育サービス事業（保育ママ、保育室、認証保育等々）」についても適用すべきであること、「結果を公表することを前提として取り組むこと」、「評価を受けたことが事業者のPRとなるように進めること」を提案いたしました。

区の答弁は、私の質問の趣旨を踏まえて進めていく、というものでした。

私自身が、区の保育所を利用し、仕事を続けながら子育てをしてきた経験の持ち主であり、現在も働く女性・母親の立場で、議員活動を行なっております。こうした経験から、今後、若い世代が安心して子どもを生み育てられる地域社会をつくっていくために、世田谷区の保育サービスの質を高めることは何よりも重要な課題である、と考えております。世田谷で子育てができてよかった、世田谷に住んでよかった、と区民が実感できるような区政を実現するために、今後も頑張っていきたいと思います。

この6月から、議会質問の様子を「生中継」と「録画放映」で、区議会のホームページで見られるようになりました。『世田谷区議会』で検索できます。

統一地方選挙を終えて、新たな会派で活動をスタートしました！！

会派控室の標語

「選ばれし者、務め多し」 「政策は知恵、政治は心」

2003年4月27日の区議会議員選挙におきまして、4524票（52人中12位）で当選させていただきました。皆様方のご支援に感謝いたしますとともに、今後4年間、責任をもって皆様の信託にこたえるべく、区民の代表である市民派議員として活動していく所存です。（公職選挙法において、議員の当選御礼の挨拶状は禁止されております。本来ならお一人お一人にご挨拶をしたいところではありますが、法の趣旨をご理解頂き、失礼をお許しいただきたく存じます。）

前の期では、旧組織（生活者ネットワーク）を離れた後「世田谷市民クラブ」という一人会派（非交渉会派）を結成して議員活動を行なっていました。改選後は“議会内会派”として「せたがや政策会議」という正式交渉会派を4人で結成し、活動を進めております。メンバーは以下の通り（一人会派のエースが結集?!）です。全員が、議論好きで勉強熱心。チームワークのとれた会派で政策立案、議会改革に取り組んでいます。

上島よしもり議員（自由党せたがや・2期目、会派幹事長）
田中優子（世田谷市民クラブ・2期目、会派政調会長）
小泉たま子議員（新風21・3期目）
おおば正明議員（世田谷行革110番・5期目）

田中優子の所属 文教常任委員会・副委員長、公共交通機関対策特別委員会委員
（財）世田谷保健センター評議員、（財）世田谷トラスト協会評議員

区政に対する皆様のご意見は以下の連絡先へお寄せください。

[メール setagaya@tanakayuko.net](mailto:setagaya@tanakayuko.net) TEL&FAX 3322-8131

●「世田谷市民クラブ」田中優子の活動に賛同していただける方へ

区民の皆様の想いを区政で実現するため今後も頑張っています。皆さまの未来への投資と考えて、『世田谷市民クラブ』に寄附をしていただけませんか。実は、他人からカンパを頂くということは大変な責任を伴い、私自身にとってもプレッシャーとなります（寄付などない方が気持ち的には楽なくらいです）。が、私は、皆様の寄付でその重圧ともいえる緊張感をバネに、より真剣に区民の皆様のために働きたいと思ひますし、皆様にとっては、「カンパをする」ということで、自分が寄付をした議員の活動はどうなっているのか？きちんと仕事をしているのか？議会質問の内容はどうか？等々、「お金を出した」ことにより、興味・関心がわき、チェックも厳しくなると思うのです。いただいたカンパは、今後の調査活動、議会活動にいかしてまいります。賛同していただける方は以下の口座へお振込みをお願い致します。

郵便振込み 記号10000 番号72859081 世田谷市民クラブ

●『田中優子のマイペンライで行こう！』

世田谷区議会議員選挙戦では、一週間、皆様に大変お騒がせいたしました。
ある区民の方からは苦情のメールが来て、「名前を連呼する候補者には絶対に投票しない。すぐにやめるべき」と言われたり、駅頭で遊説をしていたある朝は外国人男性にからまれたりもしました。マイクの音がうるさい！と、何とハンドマイクに手を出してスイッチを無理やり切ろうとされたのです。私の体にも接触しました。とても恐ろしかったです。

確かに、今の『公職選挙法』は矛盾だらけである、と感じます。もっと現実に合わせて法に変え、区民の方々に迷惑がかからない方法で、候補者のことがうまく伝えられるような手法を考えるべきだと思います。マイクの音による騒音公害だけでなく、ポスターの無断貼りで街の景観を損ねていること、電話攻勢による被害、等々、色々な問題を抱えています。ある程度議員自らが足並みをそろえて自粛していく必要があるのではないかと考えています。次の選挙の前までに、選挙の手法が少しでも改善できるよう議会内で働きかけたいと思います。（ちなみに私個人としては、今回できることとして、「選挙中の電話攻勢」は一切やめました。電話での投票依頼でいわゆる「票読み」をするのが選挙の常識、という部分がありますが、それも選挙公害のひとつだと思っていたので、私のささやかな挑戦としてやりませんでした。）

選挙中には、苦情のメールの他に激励の嬉しいメールもたくさん頂きました。（有難うございました！）今回は組織を離れて、十分な準備ができないまま迎えた選挙戦で、選挙事務所の看板もつくらず、電話かけもしない、個人演説会も行なわない、出陣式は羽根木公園ふもとの道路上でやった、という、普通の候補者には考えられないような戦いでした。何もわからないまま試行錯誤でやっていたので、事前ポスターも選挙用のハガキも選挙カーの看板も、すべてが失敗で作り直さなければならない、という苦難に見舞われ、普通の精神ならとくに切れてしまいそうな状況にありました。でも私は「マイペンライ」の精神で、「初めてのことなのだから失敗があっても当然。完璧にできなくても当然。出陣式の日には選挙カーがなくたって気にしない」という気持ちで臨むことができました。「無所属・市民派、手づくり選挙なんてこんなもの」・・・と。

そして、4月27日、4524票、52人中12位での当選！というすばらしい結果が得られました（皆様のご支援に心から感謝致します）。これからも様々な課題に直面することでしょう。いつも「大らかな気持ちで」「深刻になり過ぎず」「マイペンライで行こう！」と思います。

（「マイペンライ・・・タイ語の“大丈夫、何でもない、いいんですよ、気にしない、平気平気、どう致しまして”に相当する言葉。「タイ人は何でもマイペンライと言っていい加減だ！」と思われる方も多いと思いますが、私は、タイの人の寛大さをよく表しているタイの文化そのものだと思います）

●田中優子のプロフィール

1959年5月生まれ、中央大学杉並高等学校卒業（13期生）東京女子体育大学体育学部体育学科卒業、東京都町田市立真光寺中学校教諭 1985年～1990年（タイ・バンコク在住）タイ国立タマサート大学教養学部日本語学科講師 1990年（社）日タイ経済協力協会、（財）アジアアフリカ語学院、（株）INJカルチャーセンター、他でタイ語講師 1994年にほんごの会企業組合組合員、世田谷区日本語教室、（財）アジア学生文化協会留学生日本語コース、（財）海外職業訓練協会、他で日本語講師を兼任

1999年 世田谷区議会議員選挙初当選、2003年4月 世田谷区議会議員当選（2期目）

世田谷区松原在住 / 家族 夫・息子（松沢中1年） / 趣味 料理・映画鑑賞

中学1年～大学2年まで東京シンクロナイズドスイミングクラブで選手活動（1978年春季全日本選手権チーム優勝）大学2年～4年、シンクロ競技審判員、東京シンクロクラブにてジュニアクラスのコーチ